

令和5年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和5年9月22日（金）

地 区 沼ノ端地区

会 場 東開文化交流サロン

<意見交換>

◆市民 東開町内会の・・・と申します。

まず、一つ目は苫小牧市内の学校において、エアコン設置が0.7%と一応うたっておりました。それで、全道的にこういうことで、かなりエアコン率が少ない。苫小牧市としては、たしか民報さんで冷房を学校に設置したいという意向がありました。これ、いつ頃から沼ノ端地区としてはやる予定ですか。

◎市長 教育委員会は来ているの、来ていない。

◆市民 それでは、それは後で。よろしいですか、もう一つあります。いいですか。

◎副市長 副市長の木村でございます。

今年のこの猛暑をくぐって、教育委員会は今日来ていませんけれども、9月の議会、議論の中でもそういうお話、暑さ対策、子供たちの安全安心を守るという話が議論になりました。

教育委員会としては、なかなかエアコンということになると、その設置というのは費用の部分も含めてなかなか難しいんですけれども、各教室にスポットクーラーを設置するというので、9月議会の補正予算をつけました。

それで、これは来年の夏に間に合うように一括で購入して、全小中学校、各クラスにスポットクーラーを一つ、次の夏の暑さに対応できるところは教育委員会のほうで考えていこうということでございます。

○司会 それでは、次、ほかの方、お願いいたします。

どなたか、いらっしゃいませんか。まだまだ時間がございますので、ぜひお願いいたします。

もし今いなかったら、2回目を先ほどの方、お願いしても。

◆市民 では、すみません。

続いて、簡単なことなんです、これ。自転車の使用のときに、ヘルメットの使用に関しまして、道内でもヘルメットの購入に関して、努力義務ということで国はうたっております。

これに関しまして、市として補助金を出されるというような予定はないか、予算をつけられるのか。道内でもそういう予算をつけた地区もあります。その辺のところ、ちょっと検討していただければと思っております。よろしく申し上げます。

○司会 ありがとうございます。自転車のヘルメットに関するご質問ということで、市のほうから回答をお願いいたします。

◎市民生活課長 交通安全のほうの担当の所管をしております市民生活課の畑島と申します。

今年の4月、道路交通法の改正によりまして、ヘルメットが基本的には努力義務という形で年齢を問わず義務化されております。

そのような中で、苫小牧市内の今の実情といたしましては、まだまだそこがちょっと浸透はしていないという実情もございまして、これまで、春から夏にかけて街頭啓発の中で、自転車の安全運転の啓発を行っていく中でも、まだまだ装着の率というのが少ないというところで、我々、担当のほうと警察署もいろいろと啓発を合同でやっているんですけども、ここはちょっといろいろと普及とか、PRをしていかなければならないということでお話はさせていただいております。

そんなような中で、ヘルメットの購入も、成人向けですと5,000円を超えるようなヘルメットが一般的で、子供用でも4,000円ぐらいの値段ということで、決して安くはないというところでお声もいただいているところがございます。

今の段階で、まだ決定しているわけではありませんけれども、やはりこういったものの普及につきまして、どこまで市として前向きに取り組んでいくかというところをちょっと警察署ともいろいろと意見交換をしながら、今いろいろと協議をさせていただいているところでありますので、ちょっと今ここでできますということでの結論ではございませんが、いろいろと今協議をしているところの最中でございます。

◎市長 僕は、朝に役所へ行くときに、家のほうから役所へ行く通りで、東高に行く生徒、駒沢に行く生徒、結構高校生が一番多いんですね、ほとんどヘルメットをしていない。

だから、もうちょっとやっぱり普及、周知していかないと、なかなか装着率が全然上がらない。二、三十人に一人いるか、いないかぐらい。

いや、本当にしていない。苫小牧だけではないんです。これ、全国的にまだ。ただ、万が一のことを考えたら、子供は結構している子が多い、そんなところですね。状況を見て、判断しなきゃいけないかなと思いますけど。

◆市民 北海道としてはやっぱり冬があるから、自転車の乗る率はちょっと向こうから見ると少ないかもしれませんが、やっぱりこのテレビ見てると事故なんかを見ると、やっぱりヘルメットをしているのとしていないというのはすごい違いなので、先ほども私は申しましたけど、北海道のある地区でやっぱり補助金を出してヘルメットを購入しているというような要請もありますので、できれば苫小牧市もゼロごみと一緒に率先して身近になるような形で頑張っていたいただければと思います。

◎市長 小さい都市とかまちとか、村では、対象人数がやっぱり少ないのでできるんですけど、都市部になると、なかなかこれは単費だけで100%を市の予算だけでやるというのは、結構きついです。全体で考えると。

だから、人口が3万人とか5万人ぐらいのまちだと、財政の規模とそれから歳出する規模のバランスができるかもしれませんが、支援メニューでもあればいいんですけども、今のところは支援メニューは全くない。努力義務なものですから、支援メニューがないんですよ。ちょっと検討はします。

◆市民 よろしくお願ひします。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしやいませんか。

◆市民 東開町内会の・・・と申します。

先ほど、副市長のほうから学校におけるスポットクーラーのお話を聞いたんですけども、ちょっとイメージがわからなくて、今1クラスで40人ぐらいの教室のスペースかと思ひますけれども、それに対して、そのスポットクーラーで教室全体が快適な状況になるのか。

また、部屋のスポットクーラーのある部分と一番離れた部分での温度差がどのぐらいだとかという、そういった検証とかはされた形での設置に向けて準備しているという話でしょうか。

◎副市長 具体的な検証というのは、多分教育委員会でもしていないと思ひます。

スポットクーラー、今おっしゃるとおり、部屋の中に一つということになると、なかなか気温を下げるということは、なかなか極端に下げることは難しいと思ひます。

ただ、移動式なものですから、それを教室の中で移動させながら、冷えることは冷えますので、涼しい空気は出ますので、そういった意味では、今よりも涼むことは可能だというふうに考えているだろうと思ひています。

ただ、エアコンのように部屋を涼しくして快適な形でということまでは、多分いかないとは思ひていますがけれども、まずは教育委員会としても、この夏を見てやはり子供たちのために何かそういう形のを進めようという気持ちの中で、まずはスポットクーラーの部分も補助が利くものですから、国の補助メニューもあるものですから、そういったところで、それをやりながら、その上で検証しながら効果がどうなのかといったことも見極めながら、次のステップということも考えていくだろうというふうに思ひております。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしやいませんか。

◆市民 中央町内会の・・・と申します。よろしくお願ひします。

最近、新聞の一面に、千歳のラピダスの進出により道内の発展というものが非常に期待されていると思うんですけども、それに伴って、苫東地区、また海岸線のほうですとか、恐らくいろんな企業が進出してきて、この沼ノ端も人口が増えていくことになると思うんですけどね。

そうなった場合に、今の鉄南地区、沼ノ端中央と東開、この地区の住宅用地ということを見ると、ある程度限りが出てきているのかなというところで、今の消防署のほうの土地のほう、あちらのほうまで、要はそういう住宅用地とか、そういうものを考えていらっしやるのか。

それと、あと今の駅前を開発を少し考えていただきたいなど。というのは、非常に今3階立てのアパートが東開町のほうもちょうど4車線道路の角のところに立っていますけれども、中央町内会の駅のところに立っている。アパートが非常に多くなってきているそんな中で、景観がまちのつくり方としてはちょっと違うのかなと。

そういう中で、市としてはどういうふうにこの沼ノ端のまちづくりというものを、町内会と一緒にどういうふうにやっていくのかというのをちょっとお聞かせいただきたいと思うんですけど。

○司会 ありがとうございます。ただいま鉄南地区の住宅用地の関係と沼ノ端駅前の開発というような趣旨かと思ひますので、市のほうから回答をお願ひいたします。

◎総合政策部参与 苫小牧市の都市計画を担当しています。総合政策部の柴田といいます。

今年に入って、ラピダスの動きというのが公表されて、2025年までには一つの工場ができ、そしてそれに伴ってそこまでには作業員もたくさん入っていきますし、本格的な稼働が2027年と言われていますけれども、従業員もたくさん入ってくるといったところで、千歳市だけでは多分住宅地が足りなくなってくるだろうということで、苫小牧のほうにお住まいの方が通うというケースも考えられるとは思いますが、市のほうとしては、今はもう区画整備事業というのは市のほうでやっていない形になっています。

その中で、こういうラピダスの動きが出てきた中で、民間の動きがどういうふうに動いてくるのかということ、今は情報を集めているところでございますけれども、その中で、市としてどういうふうバックアップをしていくかということになってくると思います。

それに関わって、沼ノ端の駅前とかということをどういう要望が出てくるか、商業が盛んになってくるだとか、その辺も情報を集めながら、なかなか市のほうで、こういうふうにまちづくりをしていきますというところまではまだ行っていませんけれども、いろんな民間の動きを、情報をキャッチしながら、それに併せて市として何ができるかということを考えていくという形、今現状はそういうことになります。

以上です。

○司会 よろしいでしょうか。

◎市長 これは、なかなか読めないのは、二、三日前ですけど、ラピダスの清水専務が講演会をやって、最終的にラピダスとして1,000人ぐらいの従業員数になると、これは段階的に、今現在、今日現在は約200名です。

この200名もほとんどがやはり半導体のキャリア、半導体の会社にいた方たち、あるいは海外で半導体をやっている日本人は結構韓国に行ったりしていますけど、戻ってきてラピダスに就職した方たちもいますから、今の人たちは70人ぐらいがアメリカでIBMとの技術協力で今回ラピダスの工場が成り立つんですが、アメリカに行って、そういう人たちが最終的に住むのは、単身で来る人もいるだろうし、例えばもう今50代の人なんかは多分家があって、単身で来る人が多いと思いますし、若い人、これから採用される人でも道内から採用された方がどういうふうな住まいを求めるのか、あるいは海外から来られた社員さんも入ると思いますので、どういう形でいくのかというのは全く見えない状態なんですよね。

ただ、我々としては一市四町で、苫小牧だけではなくて一市四町でどのような形でもドアをたたいていただければ、万全な協力をしますというお話は、6月15日に私東京の本社に行って、東会長にそういう申入れもしていますし、やはり苫小牧植苗地区がいいのか、あるいは沼ノ端地区がいいのかというのは、それぞれの判断になりますけど、その動向を見極めるのはもう少し時間の経過が必要かなというふうに思います。

同時に、ラピダスだけではなくて、我々は3年ぐらい前からビッグデータセンターの誘致をずっとやっています、データセンターはどのぐらいの雇用数になるか、ラピダスほどではないとは思いますが、そういったこれからの新規の企業進出、あるいはラピダス関連、もう今既に1社

決まっていますけれども、いろいろと今各苦東に対していろんな問合せ等々が多くなってきています。

ただ、それが実際にどうなのかというのは、もう少し時間の経過が必要になってくると思いますが、そういう状況を見極めながら、先方のご意向に沿った協力の対応をしていきたいというふうに思っています。

ただ、これは恵庭もそうですし、北広もそうですし、やっぱり千歳は札幌も近いから札幌から通う人もいるでしょうし、家族連れで子供が教育機関が必要な人たち、家族はどうしてもやっぱり札幌に行っちゃうのかなとか、いろんなことを考えながら、もうちょっと様子を見させていただきたいなと思います。

ただ、こういったラピダスとか、これからの投資が、我々苦小牧はもちろんですが、一市四町の地域の活力を生むような、そういう背景を我々行政としてはしっかりと責任を持ってやっていかなきゃいけないので、半歩ぐらい先を見ながら、これから準備はしていかなきゃいけないという気持ちは持っています。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

今、マイクをお持ちします。

◆市民 中央町内会の・・・です。

この間、公園の草刈りについて、会館のほうで市のほうから説明をしに来たんですが、ちょっと僕は仕事で参加できなかったんですが、今、9号公園のほうでリンクをつくっているんですが、今の草の状態だとリンクをつくるのが厳しいので、いつ頃草刈りをしてもらえるのかなというのをちょっと聞いたかったんですけども。

○司会 ありがとうございます。公園の草刈りについてということで、市のほうから回答をお願いいたします。

◎緑地公園課長補佐 公園のほうを担当しております、緑地公園課の神野と申します。

今、沼ノ端中央公園の草刈りの件でご要望いただきましたけれども、公園の草刈りについては、基本的には年に3回今刈るように行っております。

恐らく、今沼ノ端中央公園の状況というのを私は把握できていませんけれども、恐らく3回目にこれから入るのかなとは思っておりますけれども、ちょっと戻って入る予定を確認して、後日ちょっと・・・さんのほうにご連絡。

◆市民 ほかにやっていないんですかね。

◎緑地公園課長補佐 沼ノ端中央公園。

◆市民 中央というか、9号公園のところ。

◎緑地公園課長補佐 9号公園ですね。分かりました。そちら、戻って、ちょっと予定はどういった状況になっているかというのを確認して、ご連絡させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

まだ時間は結構ありますが。

それでは、今マイクをお持ちします。

◆市民 東開町内会の・・・です。何度もすみません。

まちかどミーティングの町内会の要望事項に関しての、まず要望番号の1ですね。よろしいでしょうか。

これに関して、まず、これ、草刈りの件なんですけど、今緑地公園課きたんですけど、どうしようかなと思ったんですけど、取りあえず言います。

半分から向こうは、あまりにも生い茂っていたので、私が個人的に刈りました。でも、こちらからの、東側からの入り口に関しての半分の地域に関しましては、まだ草が伸び放題なので、それで1回は刈ったんですけど、もうちょっと刈入れもお願いしたいなと思います。よろしく願いしたいと思います。

○司会 ありがとうございます。要望番号1番の草刈りについてということでしたので、市のほうから回答をお願いいたします。

◎緑地公園課長補佐 緑地公園課の神野と申します。

今、ご指摘いただきました沼ノ端1号緑地の中に、町内会様から要望をいただいて遊歩道を整備させていただいたところの、遊歩道の周りの草刈りのご指摘だと思います。

こちらについては、年に1回、歩道の両脇を刈らせていただいているんですけど、再度現地の状況を確認して、町内会さんと今後どのような草刈りをしていったらいいかというのをちょっとご相談させていただきたいと思いますので、後ほどよろしくお願いいたします。

○司会 それでは、ほかにもなにかいらっしゃいませんか。

もし、いらっしゃらなければ、またお願いしたいと思います。

◆市民 何度もどうも申し訳ございません。

市民生活部の市民生活課に聞きたいんですけど、今の要望の中のナンバー2なんですけれど、この要望に関しまして、回答に関しては苫小牧警察署から交通調査をして実施した結果、設置基準に鑑み、設置は難しいとの回答をいただいておりますけれど、これはいつ、何時頃やったのかというのをちょっとお知らせしていただきたいんですけど。

○司会 要望の2番の件についてということで、市のほうから回答をお願いいたします。

◎市民生活課長 市民生活の畑島でございます。

申し訳ございません。実施時期についてはちょっと今持ち合わせてはいないんですけども、時間帯は午前中の時間帯ということでお聞きはしております。

この段階で、恐らくここの交通量とかが多くなる時間帯というのは、通勤の時間帯である午前中であるとか、夕方の時間帯が特に多くなるかと思えます。午前中のところの渋滞の時間帯がどれぐらい続くのか、夕方の帰宅の時間にどれぐらい続くかということで、その辺も警察のほうとも話はさせていただいているところではございます。

そこを今調査の時間帯のところの交通量というのが、それが一定渋滞が続く時間が一定の時間で解消されるというような考え方から、警察のほうとしては現在の交通量の中では難しいというようなご回答をいただいているところでございます。

時間帯としては、大体通勤時間が終わる8時ぐらいから9時ぐらいまでの時間帯での交通量調査ということで、時間帯のほうはお聞きをしております。

◆市民 分かりました。

でも、これ、夕方の時間もやっていないでしょう。これ、夕方の時間、ここをメイン道路じゃなくて、この東開町の間道路を皆さんかなり交通量が増えて、これに絡めて東開町内会の新しくできた住宅関連の道路なんかも、隣の標識片っぽだけついているとかついでないとか、それが、道路が斜めになったりとか、そういうところがあるんですよ。

それを私は指摘しているんですけど、なかなかそれに対応していただけないんですよ。この辺のところを、もうちょっと市民生活課の方だよな、これ、市民生活課。これがみんな引っかかっております。

ですから、ちょっと1回相談したほうがいいんじゃないですかね。全然ほかのほうはきていますけど、あなた方は何も来ていないよね、多分、相談に。自分たちだけで決めているんじゃないですか、これ。そんなことだったら、我々住民としては困ります、分かりましたか。

◎市長 ただ、これ、例えば信号とか横断歩道とか、交通量調査をした上での判断とかというのは全部警察マターなんですよ。市役所は、捜査権も調査権も法律上ないところなものですから、警察と相談して住民の意見を伝えるというのが今の法律では限界なんですよ。本当に。

◆市民 そうなんです。できれば警察と相談しながら、誰かに何と言われたら、市で市民生活課のほうでもうちょっとこういう形でやればよくなるのではないかという提案を持ってこない、これは鑑みて駄目だとかいう回答だと、何も意味がないんです。これ。

私が言う意味合いは、何とかしてほしいということを出してんだよ。だから、何とかしてほしい、この気持ちをやっぱり市としてはくんでいただきたい。

以上でございます。

◎市長 それは十分に理解できますけど、逆にこういうことを市でできないのかという提案があれば、言っていただければと思いますね。

交通量調査もやろうと思えばできるから、ただ、これは警察マターなもので、なかなか、これ、難しいんですよ。歩道橋の問題とか、横断歩道とか、信号とか、それから道路につける標識とか、ああいうのはまた最終的には北海道公安委員会に決定権があるので、ちょっと畑島君、現地は見ているんだろう。

◎市民生活課長 はい。

◎市長 警察に、何か警察が検討するというような何か考えてよ。

◆市民 だから、警察も相手にしないですから、あれを頭に入れて相談してくださいよ、お願いします。

◎市長 市で金を出すからというのも駄目なの。いつも思う。市で金を出すから、許可だけ言って、それは駄目なの。

◆市民 分かりました。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

よろしいでしょうか。もしいらっしゃらなければ、少し早いんですが、・・・さん、よろしいで

すか。大丈夫ですか。それでは、ほかにいらっしゃらないようですので、これで意見交換を終了させていただきますと思います。

最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たり、岩倉市長よりご挨拶させていただきます。

◎市長 いろいろご意見等もいただきまして、すぐにできることは、我々このまちかどミーティングでいただいた提案ですぐにできることは、ずっとすぐにやることを心がけていますので、ただ、できないこともありますので、その辺はご理解をいただきたいなというふうに思います。

今年はまだ草の成長がすごく早くて、街路樹で、うちもそうなんですよ。神社の下なんですけど、信号の近くにある道路際の街路樹というのは、特に全然信号から来る車が見えないので、うちから出るときに非常に危ないんですよ。全然市がやってくれないんですよ。

ただ、皆さんにご理解いただきたいのは、苦小牧は市道だけで1,000キロ以上あるんです。もちろん対象にならない地区もありますけれども、非常に市道が長いまちなものですから、これはやっぱり計画的に取り組まないと、一斉になんかはとてもじゃないけどできないので、計画を決めて、だんだん順番にやっていくということなんですけど、計画を決めた順番がどうしても住民の皆さんと思いが一致しないということがあり、一致することは難しいんですよ。

そういう場合に、僕もだから今度は自分で切ろうかなと思っているんです。もう普通の公園でも、半分ぐらい切ればそれだけ伸びるのに時間がかかるから、そういうのは駄目なの、勝手に長さをいじるのは。

いや、だから自分でやろうかと思っています。ただ、土日は毎週のように5月8日以降、入ってきているものでまだ時間がないんですが、土日に時間が取れたら自分で切って、そのぐらい危ないところは結構市内にはたくさんありますので、声を届けていただければ、その地区を担当している業者さんもいるんでしょうから、安心安全が一番の時代でありますので、特に車と車、あるいは車と人の接触が起きやすいところ、起きづらいところがありますので、そこは考えていかなきゃいけないなというふうに思います。

それやこれや、地域のいろんな問題、課題、我々は声を届けていただかなければ検討もできませんので、何かあったら全部町内会長に言ってください。ちゃんとやってくれたら、市、ありがとう。もしできなかったら、町内会長に文句を言っていただければというふうに思います。

取りあえず、どんな形でも結構です。声を届けていただくことが第一歩でありますので、そういう事態もあったときに、すぐにできることはやりますし、できなければできない理由を説明するし、時間がかかることはそれも説明していきますので、ぜひ声を届けていただくことをお願いしたいなというふうに思います。

最後までお付き合いをいただいた皆様方に、心から御礼を申し上げまして、閉めのご挨拶に代させていただきます。今日はありがとうございました。

○司会 以上をもちまして、まちかどミーティングを閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。